

Call for Papers

家計経済学／ハウスホールド・ファイナンス

この度、2017年から3回に渡り一橋大学で開催されたハウスホールド・ファイナンスをテーマとしたコンファレンスを拡大し、カバーする範囲を家計に関する経済分析全般に拡大して、コンファレンスを開催することにいたしました。オーガナイザーは祝迫得夫（一橋大学）、臼井恵美子（一橋大学）、家森信善（神戸大学）の3名です。

日時： 2021年1月23日（土）

場所： オンライン（Zoom）での開催を予定

報告希望者は、2020年12月23日（水）までにメールの添付ファイルで発表希望論文を、3人のオーガナイザー全員に一斉送信でお送りください。また応募の際に、希望する討論者を2名程度あわせてお知らせ頂くようお願いいたします。論文の採否は遅くとも1月8日（金）頃までにお知らせする予定です。

論文は英語でも日本語でもOKですが、コンファレンス当日の使用言語は日本語とし、また実証研究に関しては日本のデータを用いたものを優先します。応募にあたっては、フルペーパーの送付が望ましいですが、10ページ程度のドラフト、ないしは相当する発表スライドでも構いません。その他、何か疑問点等ございましたら、遠慮なく祝迫までお問い合わせください。

論文送付先／Co-organizers

一橋大学経済研究所 祝迫得夫 <iwaisako@ier.hit-u.ac.jp>

一橋大学経済研究所 臼井恵美子 <usui@ier.hit-u.ac.jp>

神戸大学経済経営研究所 家森信善 <yamori@rieb.kobe-u.ac.jp>

2020年10月2日

過去のハウスホールド・ファイナンスのプログラム・参加者については、以下のURLを参照してください：

<https://sites.google.com/site/tokuoiwaisako/research/household-finance-conference>

『経済研究』

家計経済学／ハウスホールド・ファイナンスに 関する特集論文の募集

一橋大学経済研究所が発行する学術誌『経済研究』では、本コンファレンスと同じく「家計経済学／ハウスホールド・ファイナンス」をテーマとした特集を組むこととし、広く論文を募集しています。特集号の論文については、編集委員会でのスクリーニングを経て、一橋大学経済研究所の研究会で討論者付きの発表を行って頂くことでレフェリー・プロセスに替えるスタイルをとります。論文の最終稿の締め切りは2021年6月末、研究会の開催は3月・4月を予定しています。興味のある方は、以下の要領で応募論文のドラフトを送付してください。

- 応募締切：2021年1月25日（月）
- 論文送付方法：学術出版室『経済研究』編集部(hh-f@ier.hit-u.ac.jp)宛に、件名「家計経済学特集号」として、論文のPDFファイルを送付してください。